

事例共有3

①タイトル	ポリコナゾール初回服用患者へのフォローアップにより 副作用が発覚し、服用中止に至った症例			
②カテゴリー	☒ 処方薬の変更・追加・増減量 ☐ 用法・用量・使用方法 ☐ 副作用・相互作用 ☐ 服薬アドヒアランス不良 ☐ その他			
③患者背景	年齢	80代	性別	男性
	現病名	糖尿病、腎障害、全身性の紅斑	診療科名	
④処方情報	2回目来局時より肺カンジダが疑われポリコナゾール追加			
⑤来局時の患者情報	患者：「血痰が出て血が混じっている。カンジダが肺のほうにいったのではないかとのこと。」			
⑥フォローアップの理由とプラン	肺カンジダに対する新規処方、併用薬との相互作用は問題ないが高齢かつ腎障害のため代謝機能低下に留意が必要。			
⑦フォローアップ内容	2日後「そういえば、目がチカチカする感じがあるが、これは関係あるか？」 ポリコナゾールによる霧視の発現と確認。ただし、インタビューフォームでは服用1週間程度経過後に症状が消失してくる可能性と記載。 さらに1日後「眼が見えず生活が困難」 医師より服用中止の指示。			
⑧処方医へのフィードバック内容	☐ フィードバックしなかった ☒ フィードバックした（内容：ポリコナゾールによる霧視の発現）			
⑨やってみた感想	- フォローアップ日時を目安として、「即発型副作用」と「中毒型副作用」に着目した日付設定が有効。 - 患者の症状経過についてリアルタイムに近いレベルで確認ができ、医療安全は勿論、患者の薬局利用体験の向上や医療機関との連携強化につながる。			